

# 放課後等デイサービスmarble pot 自己評価公表

公表日:2021.1.4

		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースとの十分な確保	活動スペースは約31㎡あり、建物内には運動ホールも曜日指定で様々なスペースが利用できるため、様々な活動を十分に行うことが可能です。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	2	職員の適切な配置	基準に適した人数を配置しており、また非常勤の支援員配置を行っています。	はい91% どちらでもない11% いいえ0%	
	3	事業所の設備についてバリアフリー化の配慮	玄関はスロープで活動部屋・トイレは段差がなく、また多目的トイレも配置している。運動ホールの入り口に3段の階段がある。視覚的にわかりやすい工夫をする等の環境作りを行っています。	はい91% どちらでもない0% いいえ11%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参加	日々の業務等、職員間で討議し、実践後の評価、修正、振り返りを行っています。		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握した業務改善	アンケートを実施し、職員で討議しています。その結果の改善に努めていく予定です。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	結果はホームページにて公開しています。自己評価公表時期にはその旨を連絡するよう予定しています。		
	7	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は実施していませんが業務改善のための整備は行っています。		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	団体全体での研修を実施しています。また職員各自が外部研修に参加し、資質向上を目指しております。		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した放課後等デイサービス計画の作成	本人・保護者のニーズを聞き取り、また日々の様子を観察しアセスメントを行い、計画書を作成しています。モニタリング期に保護者へヒアリングを行い必要があれば修正を行っています。	はい91% どちらでもない11% いいえ0%	
	10	チーム全体での活動プログラムの立案	支援員・児童発達支援管理責任者が意見を出し合い、プログラムの立案を行っています。		
	11	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	平日は時間が短いため、決まった活動で終わることもありますが、その日の利用者の様子に合わせてレクリエーションを提案しています。長時間利用・長期休暇には種々の体験プログラムや生活自立課題プログラム等を実施しています。随時利用者の状況に応じて固定化しないよう配慮しています。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	12	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援			
	13	子どもの状況に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	個別活動・集団活動を子どもの状況に応じて適宜組み合わせ合わせて計画を作成しています。		
	14	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	気になることや変更等がある場合は、日常的に確認を行っています。		
	15	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点等の情報の共有化	支援終了後時間の設定は明確化していないが気になることの情報共有をしています。また急を要することや重要なことは課題分析、解決について話し合います。		
関係機関や保護者との連携	16	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の実施	日々の様子は提供記録に記載し、保護者への引き渡し時に支援内容の報告をしています。またリアルタイムで写真や動画で活動の様子の共有を行っています。		
	17	定期的なモニタリングの実施および放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に1回で評価、見直しを行っています。		
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせた支援	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供等を集団・個別で行っています。		
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいの参画	会議には児童発達支援管理責任者等が出席して情報・意見交換を行っています。また可能であれば支援員も参加しています。		
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)の実施	事前に翌月の予定確認を保護者と行い、情報共有を計っています。一部の学校ではまこみアプリにての情報収集を行っています。		
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合の、子どもの主治医等との連絡体制の整備	該当する利用者がいません		医療的ケアの専門スタッフの配置がありません。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間の情報共有	該当する利用者がいません		必要な利用者がいる場合は十分な情報共有を行う予定です
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供	該当する利用者がいません		必要な利用者がいる場合は十分な情報共有を行う予定です
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携・助言や研修の受講の促進	研修の案内は随時行い参加を促し、発達障害が著しい支援センターエール主催の研修に職員が参加しています。		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度放課後児童クラブとの合同イベントを開催しました。また、大人から子供、障がいの有無にかかわらずイベントの参加を案内しています。	はい37.5% どちらでもない62.5% いいえ0% ・わからない	指定曜日の利用の方は、交流日が決まっているため、全利用者が対象とはなりませんが、団体で開催されるイベントは継続して案内いたします。
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时に支援内容をお伝えし、また契約時に重要事項・契約書の説明を行っています。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題についての共通理解	引き渡し時に様子報告(課題や成長点等)を行っています。また電話やメールにて随時情報共有できるようにしております。必要に応じて相談場面を設定しています。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と、必要な助言の実施	電話やメールにて随時相談を受けつける体制をとっています。必要に応じて相談場面を設定し助言と支援を行っています。	はい87.5% どちらでもない12.5% いいえ0% ・家庭での支援の助言もしてほしい	保護者からの相談のご希望は随時受けています。
	29	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催による保護者同士の連携支援	希望がないため、父母会や保護者会は発足していません。	はい12.5% どちらでもない25% いいえ62.5% ・現状のままでよい ・他の方の名前や保護者もわからない	保護者の方々のご希望をお伺いして検討していきます。
	30	子どもや保護者からの苦情についての対応の体制整備や子どもや保護者への周知、および苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口の説明をしています。また苦情などがあつた場合は迅速な対応を心がけています。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	31	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報の子ども・保護者に対しての発信	活動説明や長期休暇中の予定詳細は、対面して直接説明する機会を設けています。また、日々の子どもたちの活動様子や成長がわかるよう同意を得て写真や動画等を発信しています。	はい87.5% どちらでもない12.5% いいえ0%	SNS、まこみ、予定文書等で情報発信していますが、他で保護者のご希望があればお伺いして検討していきます。
	32	個人情報の取り扱いに対する十分な対応	個人情報の資料は鍵付きの棚に保管管理しています。また個人情報の取り扱いについての同意書を契約時に説明しています。	はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	引き渡しの際、または電話やメール等で保護者と常勤職員が随時情報共有できるようにしています。	はい91% どちらでもない11% いいえ0%	
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知	各マニュアルを作成し保護者に説明しております。また非常災害時の対応についての確認と周知を全利用者を実施しています。	はい87.5% どちらでもない12.5% いいえ0%	保護者の結果から、内容は変わっていませんが、ご希望があれば毎年1回説明の機会を設定するよう検討します。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回防災訓練の案内をし実施しています。今年度は4月3日金曜日と1月4日曜日に実施しました。	はい75% どちらでもない12.5% いいえ12.5%	毎年曜日を変更しながら避難訓練の実施をしていますが防災訓練の開催についてさらに周知をしていくよう努めます。また、今回の結果を受け引き渡し訓練の実施を保護者の希望を伺い検討します。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人で虐待に関する研修を行っています。		
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う場合における組織的決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上での放課後等デイサービス計画への記載	該当の利用者はいません。		
	38	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく対応	アレルギーの有無を確認して、保護者に確認をとっています。現在該当する利用者はいません。		
	39	ヒヤリハット事例集の作成および事業所内での共有	ヒヤリハット事例の報告を行い防止策の検討を行っています。		
満足度	40	子どもの通所楽しみ		はい100% どちらでもない0% いいえ0%	
	41	事業所の支援の満足		はい100% どちらでもない0% いいえ0%	